

# 台湾は安心・安全な海外修学旅行に最適

台湾は日本からの海外修学旅行先として人気のデスティネーションだ。コロナ前には全国の中学校・高等学校の海外修学旅行でナンバーワンの人気を誇り、親日的なお国柄もあって学校交流のプログラムにも定評があった。そして今、アフターコロナに向けて海外修学旅行の再開が検討される中で、コロナ防疫対策に優れ、感染者数の封じ込めに成功した安心・安全な旅行先として、台湾への海外修学旅行に注目が集まっている。コロナ禍でも安心・安全な台湾の防疫対策や、SDGsをテーマとした教育旅行素材などを紹介しよう。

## 海外教育旅行オンラインセミナー JATAと台湾観光局が共催

台湾観光局・台湾観光協会東京事務所は、「2021海外教育旅行オンラインセミナー」を日本旅行業協会(JATA)と共催した。当日は、海外教育旅行を担当する学校の先生や旅行会社の担当者など約500名が視聴。台湾現地からはランドオペレーターや学校関係者がビデオメッセージに登場し、最新情報の防疫対策などが紹介されたほか、台日教育旅行交流の再開を心待ちにしている様子が伝えられた。コロナ禍でのオンライン交流について全国修学旅行研究協会より事例紹介も行われた。

オンラインセミナーで台湾の最新事情を紹介した台湾観光局の陳淑華東京事務所副所長は、「台湾といえば『安心・安全』。日本から近く、飛行距離は東京から約3.5時間、時差はマイナス1時間。到着日から最終日までプログラムを組める利便性がある。安心という観点では、日本語が通じる病院も非常に充実している」と紹介。安心・安全なデスティネーションという台湾の優位性はコロナ禍で増しているとの認識を示した。

## 台湾は海外修学旅行の人気No.1 安心と近さ、歴史的つながり深く

海外修学旅行に欠かせない学校交流でも台湾には多くのメリットがある。台湾の学生は英語が流ちょうで、日本語を話す学生も多く、筆談での交流が可能な点も学校交流を行いやすいポイントの一つだ。

台湾と日本とは歴史的なつながりも深い。総統府や台中市政府をはじめ日本統治時代に建てられた建築物も多数残されており、近代史を中心に歴史を学べる利点もある。台湾の治水事業に貢献した水利技術者の八田與一氏をはじめとする偉人や、台日交流の歴史を学ぶこともできる。

陳副所長は、「台湾には、日本の国内修

学旅行の延長線上で学べるのが沢山あるほか、アジアから見た日本の立ち位置を知ることができるのも台湾に行くと学べることの一つ」として、台湾への修学旅行の魅力を紹介した。

## 環境に優しい無理のないエコ SDGsは台湾の日常から学ぶ

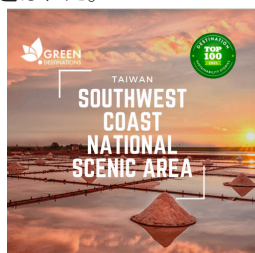
教育旅行ではSDGsを学習テーマに取り上げるケースが増えている。その点、台湾ではエコへの関心がもともと高く、「台湾の人々の普段の生活から学べるSDGsがたくさんある」ことから、修学旅行のなかでこうした日常の中のSDGsに着目した学習を行うことを提案した。

台湾では多くの人がマイカトラリーを持っており、「マイ箸」、「マイストロー」など種類も豊富。ストローもタピオカミルクティを飲むような太いものから細いものまであり、普段の生活に息づいている。レジ袋は十数年前から有料化・廃止されており、エコバックやマイバックは台湾の人なら誰でも持っているアイテムだ。

台湾のゴミ収集車は、毎日音楽を流しながら回収にやってきて、音楽が聞こえると各自が家や会社からゴミを持参し、収集車に入れることで、地面にゴミを落とさないシステムを何十年も続けているという。また、古着回収ボックスは台湾の至る所にあり、着なくなった古着を入れておくと慈善団体が回収して、台湾国内や海外で必要とする人のところまで届けてくれる。こうした環境に優しい無理のない台湾のエコスタイルは大いに参考になる。

## SDGsのおすすめ観光地 台湾最古の井仔脚瓦盤塩田

台湾には持続可能な観光を学ぶのにおすすめの観光地がたくさんあるが、なかでもおすすめしたいのが台南の「井仔脚瓦盤塩田」だ。これは現存する台湾最古の塩田で、一時は産業効率の問題もあり閉鎖されていたが、再び観光塩田として再生されたことが高く評価され、『世界の持続可能な観光地TOP100』に選ばれた。



井仔脚瓦盤塩田は『世界の持続可能な観光地TOP100』に



## 日本の生徒たちの来訪を台湾で笑顔でお待ちしております

台湾観光局・台湾観光協会 鄭憶萍東京事務所長

コロナ禍で1年半以上、台湾と日本との自由な往来ができない状況が続いていますが、台湾では徹底した防疫対策でコロナ感染を抑え、普段の生活に戻っています。台日友好関係はもともととても親密でしたが、ワクチンやマスク支援に見られる真の友情はコロナ禍でさらに強くなりました。今後も台日間の絆と友好関係が持続・発展し、若い世代につながっていくことを願っています。



台湾には日本と関わりの深い歴史、人物、遺跡があります。日本語や英語で交流でき、リサイクルなど日本にはないSDGsの仕組みを学べるデスティネーションです。台湾の優れた防疫対策は世界から評価され、安心・安全な訪問先として、日本からの海外教育旅行先として台湾はベストだと思います。一日も早いコロナ収束を願い、日本の皆様、日本の生徒達の来訪を台湾で笑顔でお待ちしております。

また、台湾ではエコな観光という観点から、自転車での旅行が盛んだ。台湾観光局も自転車旅行を推進しており、台湾には3700キロメートルに及ぶ自転車専用道が整備され、気軽に自転車旅行が楽しめる。自然にも環境にも優しい自転車旅行は、アフターコロナにおける旅行のトレンドを先取りしたものとなるだろう。

## コロナ収束後の交流再開へ 学校関係者が歓迎メッセージ

当日のオンラインセミナーでは、台湾の学校の様子や観光地の防疫対策などを紹介する動画も放映された。動画に登場した竹林高校の校長先生は、バイリンガル教育に力を入れている同校の特色を紹介し、「竹林高校への訪問をお待ちしております」と歓迎。学生代表も、コロナは収束に向かいつつあり、日本の学生と交流できる日を楽しみにしているとの歓迎メッセージを寄せている。

台湾の観光施設でのコロナ防疫対策については、大型バスではマスク着用、体温測定、消毒を行ってから乗車。バス車内は換気と消毒を徹底し、ドライバーは運転前に体温測定を行っている。レストランやホテルでは入り口でQRコード、氏名登録、体温測定と消毒を行う。ピュッフェなどを利用する際には必ずマスクを着用し、店によっては手袋も用意されている。

## ワクチン接種70%が一つの目安 衛生観念近いのも台湾の強み

今後は台湾の実際対策がいつ頃緩和されるのかも注目されている。陳副所長は、「ワクチンの2回接種率が70%を超えれば、前向きにどのように緩和していくのか検討していくと言われている」として、「来年の2月頃にはもう少し具体的な報告ができるのではないかと見通した。」



竹林高校での昼食風景

台湾は市中感染ゼロが8カ月間も続くほど感染の封じ込めに成功しており、病院の医療体制は逼迫しておらず余裕がある。また、学校交流の受入先となる学校からは、コロナ収束後には基本的な衛生対策をしっかり行いながら、日本の学生との交流を楽しみたいと歓迎するメッセージが寄せられている。衛生観念が日本と近いこともアフターコロナの海外修学旅行における台湾の強みとなることだろう。



日月潭のサイクリングコース

## コロナ禍でも元気!台湾の消費活性化

### 振興五倍券で消費活性化

台湾ではコロナ禍での経済活性化策の一環として、去る10月8日より『振興五倍券』が再登場した。これは以前に配布された『振興三倍券』をさらにグレードアップさせたもの。1人当たり5000元(約2万円)分のクーポン券(紙版かデジタル版から選択可能)が配布され、コロナ禍での消費を後押ししている。『振興五倍券』に合わせて、プラスαの特典が付く商品開発も活発に行われており、内需拡大に一役買っている。



### 独自のクーポンでさらにお得に

『振興五倍券』の発行に合わせて、交通部、經濟部、文化部、教育部などの8省庁が計1356万枚以上の独自クーポン券を抽選で発行している。交通部が発行する『国旅券』は、数量限定で国内宿泊、温泉、観光施設等で使用できる1000元分のクーポン。来年4月までに使用することが条件で、旅行消費の促進につながっている。



国民旅行1000

## エコな台湾を満喫! SDGsおすすめ素材

### 水処理技術の歴史が学べる 自来水博物館

台北市南部にある水道施設の博物館。日本統治時代の1908年にこの地に浄水場が設けられ、台湾で初めて現代化された電動式ポンプ室が導入された。水源地は移したが、ポンプ室が古蹟に指定され、水処理技術の歴史が学べる博物館になった。歴史的建築物や周辺の公園も見どころ。



### マイカトラリーを持とう! 台湾のかわいいエコグッズ



多くの人がマイカトラリーを持つなど、台湾はエコ大国。エコバックはもちろん、暑いコーヒーを買ったときにはこんな可愛い手提げで持ち歩くのが台湾流。「マイストロー」も袋付き、掃除用のブラシ付きで販売されている。